

SHUJI YAMADA RECENT WORKS OF PHOTOGRAPHY & TILING

西脇市岡之山美術館は「山田脩二・日本村・日本旅・日本晴れ」展を開催いたします。

山田脩二（1939 年～）は、兵庫県武庫郡鳴尾村（現西宮市）に生まれ、桑沢デザイン研究所に学び、グラフィックデザイナーを志して印刷工場の現場に身を投じた後、職業的カメラマンとして主に建築写真のジャンルで活躍しました。日本各地を旅して人々の生業と暮らしぶり、常滑などの焼きものの製造現場、都市と地域をカメラに収め、それらの仕事からなる集大成の写真集『山田脩二・日本村 1969-1979』（1979 年、三省堂）は、戦後の高度成長によって新旧が激しく混じり合っただ容する日本の姿が如実に映し出された貴重なドキュメントとして注目を浴びました。1982 年以降は淡路島津井に移住して瓦師（カワラマン）となり、2007 年南あわじ津井の瓦衆と《達磨窯プロジェクト「脩」》を立ち上げ、達磨窯を復興・築窯して窯焼きを重ね、銀色に洩く光る肌と独特の風合いをみせる瓦・敷瓦の焼成を手がけ、淡路島の自然をはじめ、全国に点在する炭焼きの現場、日本の津々浦々の写真を撮り続けています。

本展は、山田脩二の代表作を含む淡路移住以降の写真の仕事を中心に紹介し、淡路の達磨窯との出会いが放つ独創的な山田瓦の仕事の宇宙、写真も瓦も焼いてその出来上がり、裏と表の「焼き具合」に、徹底的にこだわる山田脩二の人生の旅そのものの魅力に迫ります。建築家磯崎新設計の当館の周囲にある初期瓦のエージングのさまも見どころです。

- 1 《宮崎・北郷村》2000 年
2、3 《愛知・常滑》1963 年（チラシ表）
4 《淡路島・火を吐く達磨窯》2015 年
5 《阿武隈川河口》2016 年
6、7 《飾り瓦「雲」を壁面に！（芦屋放射線治療クリニック「のぞみ」）》2014 年
8 《達磨窯の横に積んだ瓦オブジェ》2015 年
9 《岡山》2016 年
※すべて作家蔵

山田脩二 日本村 日本旅 日本晴れ

〔関連事業〕

■山田脩二とキュレーターによるギャラリートーク

展示室を歩きながら作品の見どころを解説します。

日 時：11 月 27 日（日）午前 11 時～11 時 30 分

会 場：本館

参加費：無料

■「スライドショー&対談

山田脩二（写真家・淡路瓦師）

×

山崎均（当館客員キュレーター、神戸芸術工科大学教授）

山田脩二がスライドプロジェクターで作品を上映しながらキュレーターと対談します。

日 時：11 月 27 日（日）午後 2 時～3 時

会 場：アトリエ

参加費：無料（要入館料）

定 員：20 名 ※要予約

申込み先：西脇市岡之山美術館（0795-23-6223）

2016 年 11 月 27 日（日）～2017 年 3 月 26 日（日）

開館時間：午前 10 時～午後 5 時 ※入館は午後 4 時 30 分まで

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）と祝日の翌日

※年末年始 12 月 29 日（木）～2017 年 1 月 3 日（火）

入館料：大 人 310 円（260 円）※（ ）内 20 名以上の団体割引料金

高大生 210 円（160 円）※障がい者割引有

小中生 110 円（80 円）※ココロンカード利用可

主 催：西脇市岡之山美術館（〔公財〕西脇市文化・スポーツ振興財団）

協 力：神戸芸術工科大学山崎均研究室

〔アクセス〕

電 車：JR 加古川線「日本へそ公園」駅前

バ ス：大阪・三宮から神姫バス（西脇行き）

「西脇（アピカ）」からタクシー 10 分

自動車：中国自動車道・滝野社 IC から 15 分

〒677-0039 兵庫県西脇市上比延町 345-1

東経 135 度北緯 35 度交差点日本へそ公園内

TEL/FAX：0795-23-6223

E-mail：okanoyamamuseum@galaxy.ocn.ne.jp

http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/

公益財団法人 西脇市文化・スポーツ振興財団
西脇市岡之山美術館
NISHIWAKI OKANOYAMA MUSEUM OF ART

